

新 公 会 計 N E W S

～大阪府の財務諸表をわかりやすく！～ <<第1号>>

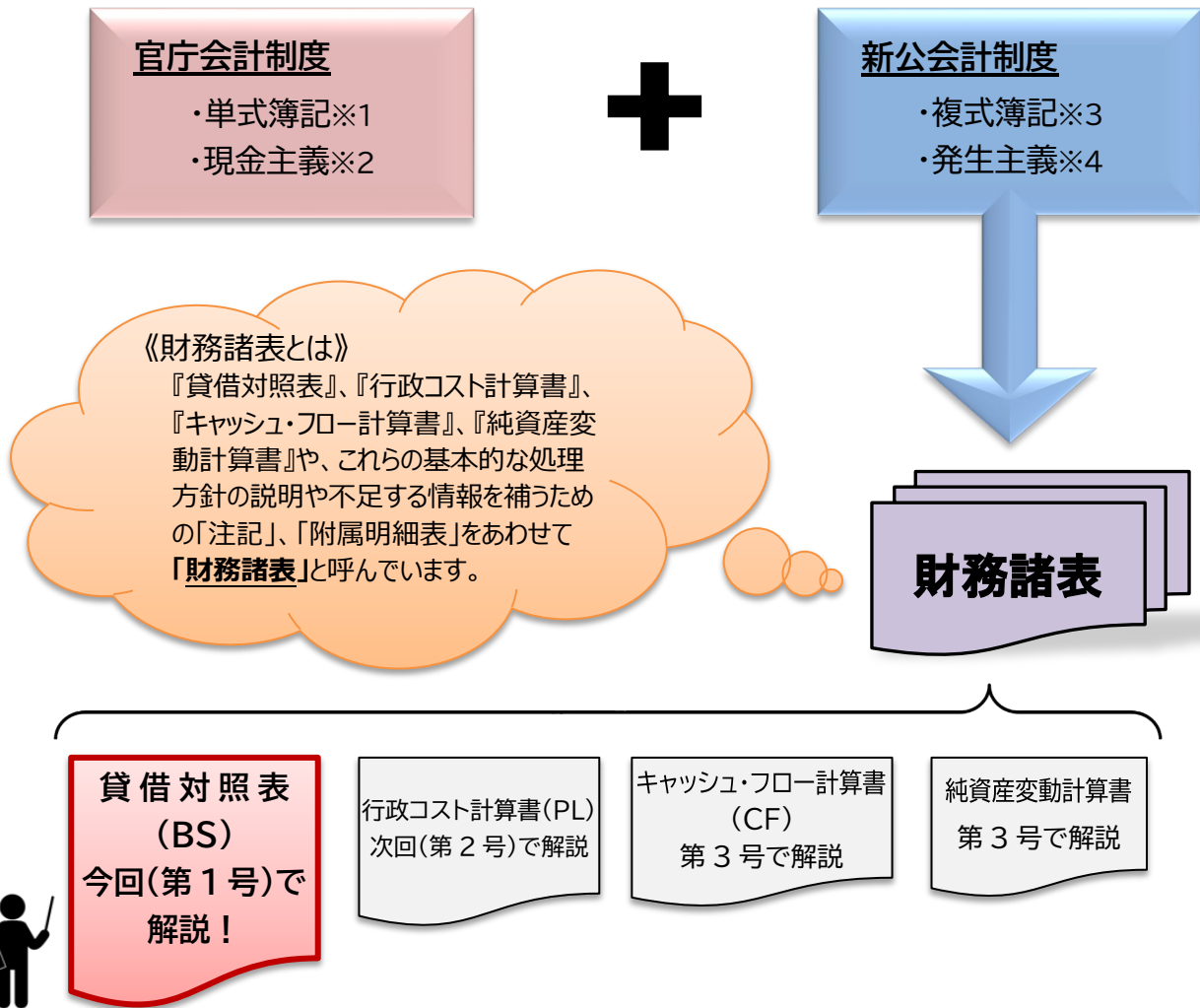
〇はじめに

大阪府では、平成23年度決算より、従来の官庁会計の仕組みに複式簿記・発生主義という企業会計の考え方を取り入れた新公会計制度を導入し、日々の仕訳入力に基づく財務諸表を作成しています。

『新公会計 NEWS』では、令和4年度の財務諸表の内容を中心に、府民のみなさまに大阪府の財務諸表の概要を3回にわたり、わかりやすくお伝えします。

ご説明する財務諸表は、大阪府全体（各会計合算）になります。

〇大阪府の会計制度



※1 一つの取引について、現金の収支のみを記録する簿記手法のこと。
 ※2 現金の収支の事実により、記録する考え方のこと。
 ※3 一つの取引について、二つの側面に捉え記録する簿記手法のこと。
 ※4 現金の収支にかかわらず、取引発生の実実に基づき、費用や収益を計上する考え方のこと。

今回（第1号）は、『貸借対照表』について説明します。『貸借対照表』は財務諸表の作成基準日（年度末）における「資産」や「負債」、「純資産」の状況を明らかにするための計算書です。

貸借対照表(バランスシート)の構成

「資産」とは、所有している財産（お金と物）と権利（債権）です。
流動資産と固定資産に分けて表示しています。

「負債」とは、将来支払わなければならない債務で、地方債や引当金等があります。
流動負債と固定負債に分けて表示しています。

「純資産」とは、資産の総額から負債の総額を引いたものです。
「現在までの世代が負担してきた金額」に相当します。

貸借対照表
(令和5年3月31日現在)

科目	令和4年度		差 (A-B)	科目	令和4年度	
	(A)	(B)			(A)	(B)
資産の部				負債の部		
I 流動資産	719,492	754,975	▲ 35,483	I 流動負債	727,939	
現金預金	94,907	112,301	▲ 17,394	地方債	644,936	
歳計現金等	56,033	73,236	▲ 17,194	短期借入金	—	
歳入歳出外現金	38,864	39,064	▲ 200	他会計借入金	—	
未収金	24,728	29,363	▲ 4,835	その他長期借入金	—	
税未収金	12,724	12,625	▲ 502	賞与等引当金	46,837	45,629
その他未収金	12,405	16,738	▲ 4,334	未払金	—	1,207
不納欠損引当金	▲ 6,408	▲ 10,196	▲ 3,788	支払保証債務	—	—
基金	535,009	547,431	▲ 12,422	その他未払金	—	—
財政調整基金	334,180	367,907	▲ 34,727	還付未済金	2,747	2,371
減債基金	201,829	179,525	22,305	リース債務	—	12,213
短期貸付金	▲ 1,248	10,803	445	その他流動負債	33,418	33,621
貸倒引当金	▲ 147	▲ 132	▲ 15	II 固定負債	5,562,174	5,776,349
その他流動資産	60,356	65,405	▲ 5,049	地方債	5,198,190	5,381,273
II 固定資産	7,079,062	6,972,345	106,718	長期借入金	—	—
事業用資産	2,105,840	2,106,076	89,765	他会計借入金	—	—
有形固定資産	2,192,327	2,102,560	89,767	その他長期借入金	—	—
土地	1,281,532	1,184,076	97,456	退職手当引当金	346,415	351,328
建物	810,298	814,188	▲ 3,891	その他引当金	—	—
工作物	100,118	103,876	▲ 3,759	リース債務	—	28,280
立木竹	337	363	▲ 26	その他固定負債	17,570	15,468
船舶	0	0	—	負債の部合計	6,290,112	6,499,803
浮標等	43	56	▲ 13	純資産の部		
航空機	0	0	—	純資産	1,508,442	1,227,516
無形固定資産	3,513	3,516	▲ 3	(うち当期純資産増減額)	280,926	174,003
地上権	293	295	▲ 2			
特許権等	3,220	3,221	▲ 0			
インフラ資産	3,058,896	3,081,524	▲ 22,628			
有形固定資産	3,058,869	3,081,497	▲ 22,628			
土地	1,550,363	1,542,035	8,328			
建物	5,665	5,425	240			
工作物	1,502,841	1,534,037	▲ 31,196			
無形固定資産	28	28	0			
地上権	28	28	0			
特許権等	—	—	—			
重要物品	8,404	7,891	513			
図書	8,704	8,606	98			
リース資産	—	40,338	▲ 40,338			
ソフトウェア	5,368	4,700	668			
建設仮勘定	193,219	194,723	▲ 1,504			
投資その他の資産	1,608,630	1,528,488	80,143			
出資金	542,630	538,559	4,071			
法人等出資金	486,073	486,095	▲ 21			
公営企業会計出資金	56,557	52,464	4,093			
長期貸付金	205,787	198,568	7,218			
貸倒引当金	▲ 1,575	▲ 1,652	76			
基金	855,545	783,781	71,764			
減債基金	717,440	649,047	68,392			
減債基金借入金	—	—	—			
その他の基金	138,105	134,734	3,372			
その他基金借入金	—	—	—			
その他債権	6,243	9,231	▲ 2,987			
資産の部合計	7,798,554	7,727,320	71,235	負債及び純資産の部合計	7,798,554	7,727,320

P3で解説

P4で解説

はじめに、「貸借対照表」の「資産の部」について説明します。

※四捨五入のため、表内の合計等が一致しないことがあります。

(単位：億円)

流動資産

- ① 「**流動資産**」は、1年以内に現金化することができる資産です。(令和3年度に比べ355億円減)
- ② 「**未収金**」は、収入すべき額のうち、まだ収入されていない額です。税未収金・その他未収金があります。(令和3年度に比べ48億円減)
- ③ 「**不納欠損引当金**」は、未収金のうち、回収不能と見込まれる見積り金額です。(令和3年度に比べ38億円減)
※不納欠損引当金は資産の控除項目のため、▲表記です。
- ④ 「**基金(流動資産)**」は、財政運営を計画的に行ったり、特定の目的のための資金を積立てるもので、いわゆる家計における預貯金に相当するものです。(令和3年度に比べ124億円減)

科目	令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	差 (A-B)
①流動資産	7,195	7,550	▲ 355
現金預金	949	1,123	▲ 174
②未収金	245	294	▲ 48
③不納欠損引当金	▲ 64	▲ 102	38
④基金	5,350	5,474	▲ 124
その他	715	761	▲ 46
⑤固定資産	70,791	69,723	1,067
⑥事業用資産	21,958	21,061	898
⑦インフラ資産	30,589	30,815	▲ 226
⑧建設仮勘定	1,932	1,947	▲ 15
⑨投資その他の資産	16,086	15,285	801
出資金	5,426	5,386	41
長期貸付金	2,058	1,986	72
貸倒引当金	▲ 16	▲ 17	1
基金	8,555	7,838	718
その他債権	62	92	▲ 30
その他	225	615	▲ 391
⑩資産の部合計	77,986	77,273	712

固定資産

- ⑤ 「**固定資産**」は、長期にわたり保有する資産です。土地・建物・工作物などがこれに当てはまります。(令和3年度に比べ1,067億円増)
- ⑥ 「**事業用資産**」は、府庁舎や学校などで、公共用に使用する資産のうち道路や港湾などの「インフラ資産を除く資産」です。「有形固定資産(土地や建物など)」と「無形固定資産(特許権など)」があります。(令和3年度に比べ898億円増)
- ⑦ 「**インフラ資産**」は、道路・港湾・農道等の産業や生活の基盤となる資産です。(令和3年度に比べ226億円減)
- ⑧ 「**建設仮勘定**」は、建物・工作物などの固定資産を取得する場合における諸費用について、その資産が完成するまでの間、計上するものです。(令和3年度に比べ15億円減)
- ⑨ 「**投資その他の資産**」は、法人等や公営企業会計への「出資金」、翌々年度以降に償還が見込まれる貸付金や、減債基金※などの基金です。(令和3年度に比べ801億円増)

資産の部合計

- ⑩大阪府の「資産」の合計は、**7兆7,986億円**です。(令和3年度に比べ712億円増)

※減債基金・・・府の借金である府債の返済に備え、満期日が来るまでの間お金を貯めておく「財布」にあたるもの。

続いて、「負債の部」と「純資産の部」について説明します。

※四捨五入のため、表内の合計等が一致しないことがあります。

(単位：億円)

科目	令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	差 (A-B)
①流動負債	7,279	7,235	45
②地方債	6,449	6,296	153
③賞与等引当金	468	456	12
その他	362	482	▲120
④固定負債	55,622	57,763	▲2,142
⑤地方債	51,982	53,813	▲1,831
長期借入金	-	-	-
⑥退職手当引当金	3,464	3,513	▲49
その他	176	437	▲262
⑦負債の部合計	62,901	64,998	▲2,097
純資産の部	15,084	12,275	2,809
⑧純資産	15,084	12,275	2,809
(うち当期純資産増減額)	(2,809)	(1,740)	(1,069)
負債及び純資産の部合計	77,986	77,273	712

流動負債

- ①「流動負債」は、1年以内に支払時期が到来する負債です。(令和3年度に比べ45億円増)
- ②「地方債(流動負債)」は、施設の建設や改修等のために発行した地方債のうち、翌年度に償還予定のものです。(令和3年度に比べ153億円増)
- ③「賞与等引当金」は、翌年度に支払予定の期末手当及び勤勉手当見込額並びにこれらに係る法定福利費支給見込額のうち、当期の負担相当額を計上しています。(令和3年度に比べ12億円増)

固定負債

- ④「固定負債」は、1年を超えて支払時期が到来する負債です。(令和3年度に比べ2,142億円減)
- ⑤「地方債(固定負債)」は、翌々年度以降に償還予定のもので、(令和3年度に比べ1,831億円減)
- ⑥「退職手当引当金」は、全職員が自己都合により退職した場合に必要な退職手当を計上しています。(令和3年度に比べ49億円減)

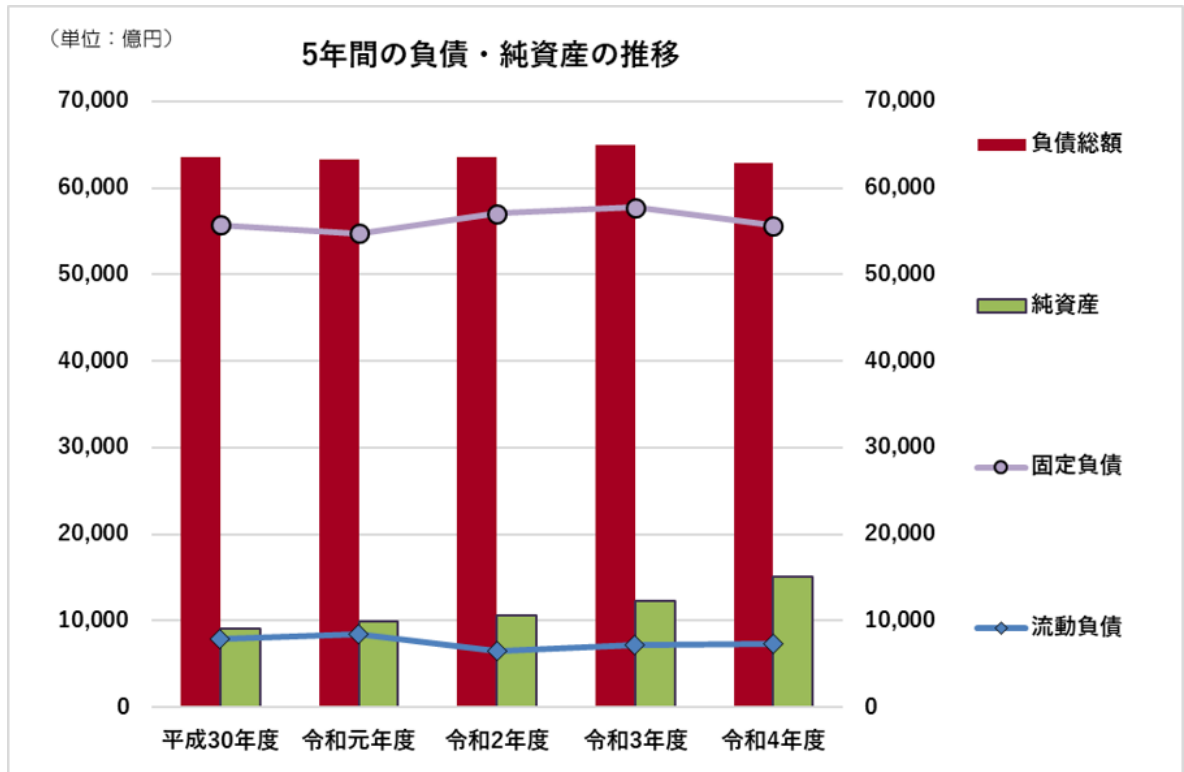
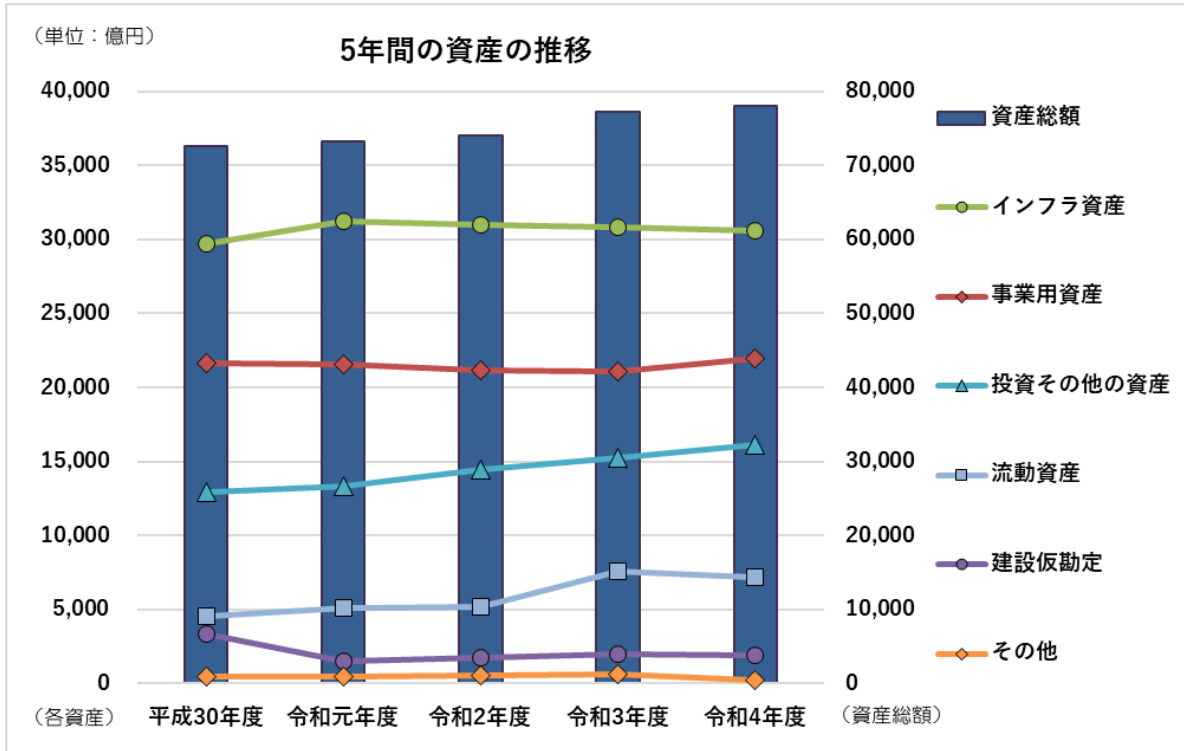
負債の部合計

- ⑦大阪府の「負債」の合計は、6兆2,901億円です。(令和3年度に比べ2,097億円減)

純資産の部

- ⑧大阪府の「純資産」(資産の部合計-負債の部合計)は、1兆5,084億円です。(令和3年度に比べ2,809億円増)

直近5年間の資産・負債・純資産の推移



直近5年間の貸借対照表から資産、負債、純資産の推移を見ていきます。
 資産と純資産は、平成30年度から一貫して増加しています。
 負債は、令和元年度から増加傾向でしたが、令和4年度は減少しています。
 令和4年度の資産総額増加の要因は「事業用資産（土地）」の増加、負債総額減少の
 要因は「固定負債（地方債）」の減少が主なものです。



貸借対照表(バランスシート)の指標

貸借対照表

(令和5年3月31日現在)

(単位：百万円)

科目	令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	差 (A-B)	科目	令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	差 (A-B)
資産の部				負債の部			
I 流動資産	719,492	754,975	▲ 35,483	I 流動負債	727,939	723,455	4,484
現金預金	94,907	112,301	▲ 17,394	地方債	644,936	629,621	15,315
歳計現金等	56,043	73,236	▲ 17,194	短期借入金	—	—	—
歳入歳出外現金	38,864	39,064	▲ 200	他会計借入金	—	—	—
未収金	24,528	29,363	▲ 4,835	その他短期借入金	—	—	—
税未収金	12,124	12,625	▲ 502	賞与等引当金	46,837	45,629	1,207
その他未収金	12,405	16,738	▲ 4,334	未払金	—	—	—
不納欠損引当金	▲ 6,408	▲ 10,196	3,788	支払保証債務	—	—	—
基金	535,009	547,431	▲ 12,422	その他未払金	—	—	—
財政調整基金	333,180	367,907	▲ 34,727	還付未済金	2,747	2,371	377
減債基金	201,829	179,525	22,305	リース債務	—	12,213	▲ 12,213
短期貸付金	11,248	10,803	445	その他流動負債	33,418	33,621	▲ 203
貸倒引当金	▲ 147	▲ 132	▲ 15	II 固定負債	5,562,174	5,776,349	▲ 214,175
その他流動資産	60,356	65,405	▲ 5,049	地方債	5,198,190	5,381,273	▲ 183,083
II 固定資産	7,079,062	6,972,345	106,718	長期借入金	—	—	—
事業用資産	2,195,840	2,106,076	89,765	他会計借入金	—	—	—
有形固定資産	2,192,327	2,102,560	89,767	その他長期借入金	—	—	—
土地	1,281,532	1,184,076	97,456	退職手当引当金	346,415	351,328	▲ 4,913
建物	810,298	814,188	▲ 3,891	その他引当金	—	—	—
工作物	100,118	103,876	▲ 3,759	リース債務	—	28,280	▲ 28,280
立木竹	337	363	▲ 26	その他固定負債	—	15,468	2,102
船舶	0	0	—	負債の部合計	6,290,112	6,499,803	▲ 209,691
浮標等	43	56	▲ 13	純資産の部			
航空機	0	0	—	純資産	1,508,442	1,227,516	280,926
無形固定資産	3,513	3,516	▲ 3	(うち当期純資産増減額)	280,926	174,003	106,922
地上権	293	295	▲ 2				
特許権等	3,220	3,221	▲ 0				
インフラ資産	3,058,896	3,081,524	▲ 22,628				
有形固定資産	3,058,869	3,081,497	▲ 22,628				
土地	1,550,363	1,542,035	8,328				
建物	5,665	5,425	240				
工作物	1,502,841	1,534,037	▲ 31,196				
無形固定資産	28	28	0				
地上権	28	28	0				
特許権等	—	—	—				
重要物品	8,404	7,891	513				
図書	8,704	8,606	98				
リース資産	—	40,338	▲ 40,338				
ソフトウェア	5,368	4,700	668				
建設仮勘定	193,219	194,723	▲ 1,504				
投資その他の資産	1,608,630	1,528,488	80,143				
出資金	542,630	538,559	4,071				
法人等出資金	486,073	486,095	▲ 21				
公営企業会計出資金	56,557	52,464	4,093				
長期貸付金	205,787	198,568	7,218				
貸倒引当金	▲ 1,575	▲ 1,652	76				
基金	855,545	783,781	71,764				
減債基金	717,440	649,047	68,392				
減債基金借入金	—	—	—				
その他の基金	138,105	134,734	3,372				
その他基金借入金	—	—	—				
その他債権	6,243	9,231	▲ 2,987				
資産の部合計	7,798,554	7,727,320	71,235	純資産の部合計	1,508,442	1,227,516	280,926
				負債及び純資産の部合計	7,798,554	7,727,320	71,235

貸借対照表の資産・負債額を大阪府の人口で除することで、府民一人あたりの資産・負債額を見ることができます。

令和4年度決算では、

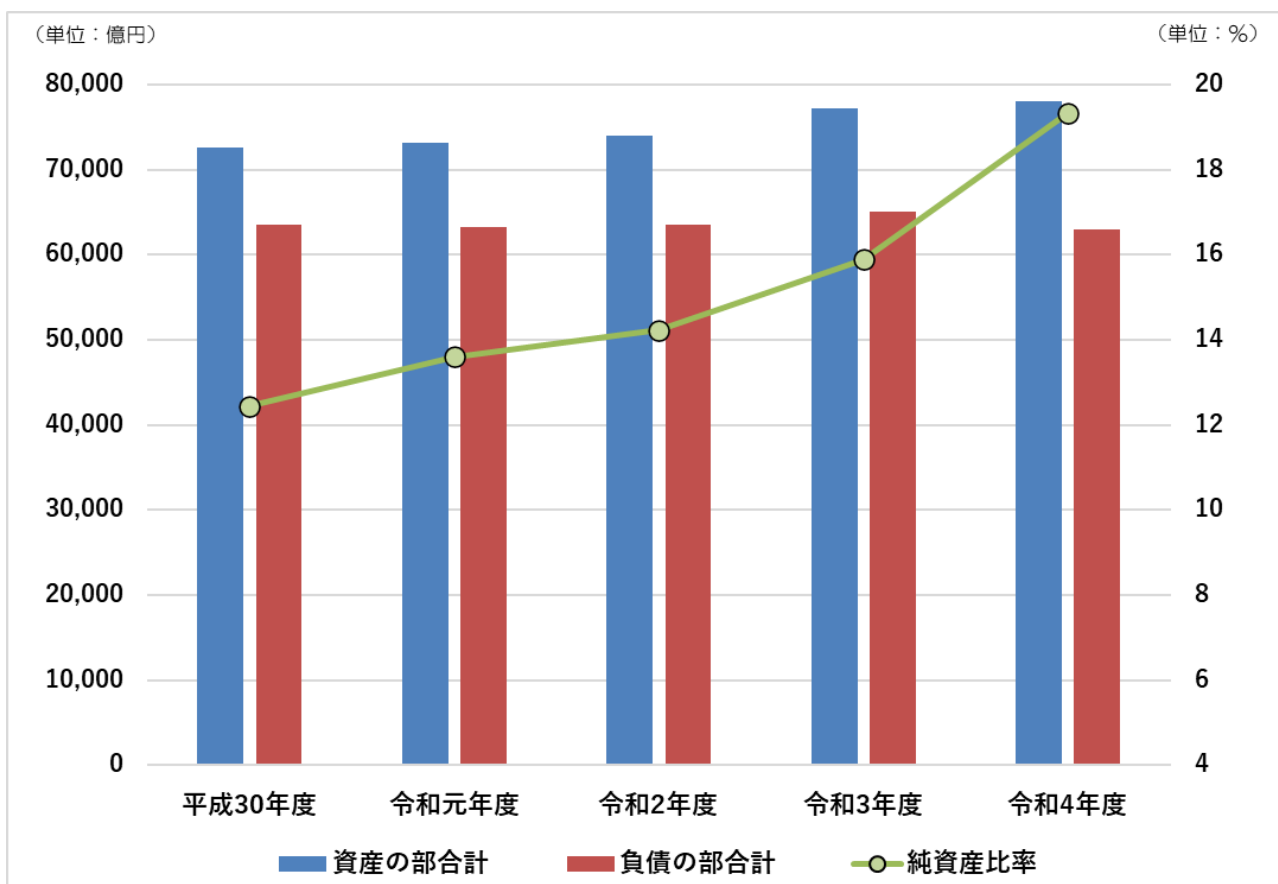
○7,798,554 百万円 (資産の部合計) / 8,770,650 人 ≒ 88 万 9 千円

○6,290,112 百万円 (負債の部合計) / 8,770,650 人 ≒ 71 万 7 千円

府民一人あたり 88 万 9 千円の資産と、71 万 7 千円の負債を持っているということがわかります。

※人口：令和5年4月1日現在 (大阪府毎月推計人口)

直近5年間の純資産比率、資産・負債の推移



直近5年間の貸借対照表から純資産比率、資産・負債の推移を見ていきます。
純資産比率は、事業の健全性を評価する際に利用される指標で、総資産に占める純資産の割合を示します。

この数値が高いほど、将来世代の負担が小さいことを表し、**直近5年間は増加しています。**

[新公会計制度による大阪府の財務諸表の掲載は、大阪府ホームページ（カテゴリーからさがす）⇒「府政運営・市町村」⇒「財政」⇒「新公会計制度」⇒「新公会計制度による大阪府の財務諸表について」](#)でご覧いただけます。



次回は、『行政コスト計算書』について説明します！